市民を災害から守る

都市防災の拠点・新西消防署が開署

老朽化により昨年8月から建て替えが行われていた西消防署の工事が完了し、3月から新西消防署として業務を開始しました。

地域の史跡「天妃宮」を意識したデザインの新庁舎は、消防庁舎としての機能性を重視した造りとなっています。

県内で初めて水難救助訓練のための水深6メートルの潜水プールが庁舎の1階と2階部分に設置され、1階で訓練の様子が観察できるなど、これまでにはなかった新しい機能を備えています。

また、雨水利用、屋上緑化、深夜電力の利用による省エネ対策など、環境への配慮もなされています。

リース方式を導入した西消防署庁舎は、鉄筋コンクリート造りの地上4階建てで、延べ床面積が約1996平方メートル、震度7の地震にも耐える耐震構造となっています。

特別救助隊を擁し大規模災害にも対応する西消防署

新西消防署の開署に伴い次の通り、消防署（所）の位置の変更等や本部の課の新設、発足などがあります。

名称が変更になる消防署（所）等

●新西消防署の完成に伴い、消防本部庁舎（銘苅）に中央消防署が移転しました。

●寄宮の中央消防署が、銘苅に移転したことに伴い、中央消防署跡は中央消防署真和志出張所に組織を変更しました。

那覇市特別救助隊発足

人命救助に関する専門的教育を受けた救助隊員の中から選抜された18人で編成する特別救助隊を3月1日に県内で初めて発足しました。特別救助隊はCCDカメラが付いた画像探索機や暗視スコープ、がれきや地中の小さな音も察知する地中音響探知機などの高度救助資機材を活用し、市内だけでなく大規模災害が発生した場合は、県外にも出動し高度な救助活動を展開します。

高度救助資機材の特徴について説明する特別救助隊員

救急課を新設

昨年は、市内の救急出動件数が1万3千件を突破しました。総務省消防庁も、通報を受けた消防本部による「患者の選別」導入の検討を始めるなど、救急の出動件数は増加する一方です。それに対応するため、消防本部警防課救急係を課に昇格し、救急課を設置しました。

世界遺産群特別警防隊発足

市内の首里地域を中心に点在する世界遺産等を火災、震災及びその他の災害から守るため、特別に編成した世界遺産群特別警防隊を、中央消防署首里出張所に配置します。

市民のみなさまを災害などの被害から守る防災拠点の機能を備えた庁舎の完成により、市では今後、その機能を存分に発揮し、消防行政に取り組んでいきます。

お問い合わせ
消防本部総務課☎867-0119

地震や津波などの大規模災害に対応するため県内で初めて発足した特別救助隊

海の事件・事故は、海上保安庁緊急通報電話 118番へ

次のことにも注意して、海で安全に楽しく遊ぼう!

1.救命胴衣の常時着用（乗船時や磯釣り中）

2.携帯電話（防水パック入り）の携行

リーフカレント事故防止ビデオ無料配布

海の安全教室（幼稚園児・小学生対象）

や救命胴衣着用体験イベントも実施可

第11管区海上保安本部　海上安全推進室
☎867-0118(内3251)

「貸します詐欺」にご注意ください

最近、大手金融機関などを装って、「お金を貸します」といった内容の偽DM（ダイレクトメール）・ハガキ・FAX・携帯メールなどを送りつけて、保証金や保険金名目でお金を騙し取る新手の手口が急増しています。このような詐欺行為を「貸します詐欺」といいます。

「貸します詐欺」の手口は、「低金利・無担保・無保証で即日融資します」というううたい文句で文書などを送りつけ、保証金などの名目で金銭を預金口座に振り込ませるというもので、被害は昨年以降、急増しています。

「貸します詐欺」の主な特徴

1.融資する前に必ず保証金などの名目で現金を要求する。

2.大手金融機関や登録貸金業者を装って商標やロゴを使用する。

3.一度払い込んでしまうと同じ業者から次々と名目を変えて要求がある。

騙されないための心構え三か条

●第一のポイント

取引関係のないところから突然送られてくる、「お金貸します」とのダイレクトメール・携帯メールに注意する。

●第二のポイント

融資をする前に、様々な口実でお金を振り込ませようとする手口に注意する。

●第三のポイント

「貸します詐欺」かもしれないと感じたら、送金の前に以下にお問い合わせを。

消費生活に関する相談・苦情は
那覇市消費生活相談室 ☎862-3278　沖縄県県民生活センター ☎863-9214
*相談の受け付けは2か所とも、平日:9:00～12:00、13:00～16:00

那覇市の情報やお知らせは「那覇市ホームページ」をご覧下さい　http://www.city.naha.okinawa.jp/